

(様式)

常任委員会行政視察報告書

委員会名	経済建設常任委員会	委員名	高木 ひろたか
視察地	新潟県 村上市		
調査事項	村上市スケートパークについて		
視察年月日	令和5年11月14日(火)		
視察内容	<p>●視察内容</p> <p>新潟県村上市の「スケートパークを活用したスポーツ振興」を視察。</p> <p>「地元の力」を結集し、新たなスポーツのあり方で地域改革を行うため、官民連携型組織（地域スポーツコミッション）の立上げに加え、トップレベルの選手が集地的・継続的にトレーニングを行うためのスケートパークを建設。近隣の瀬波温泉旅館協同組合との連携によるスポーツ合宿や教育旅行などの拠点施設としても活用されている。</p> <p>屋内型のスケートパークにはカリフォルニアスケートパークス社監修の「パーク」と「ストリート」の本格的なスケートボードコースに加え、エアマット・スポンジマットなどの付帯設備によって、スケートボード競技のナショナルトレーニングセンター強化拠点施設にスポーツ庁長官より指定されている。</p> <p>また、施設内にはボルダリングやスラックライン、ランニングコースやトレーニング設備などがあり、大人100～200円、小人50～100円の安価であるため市民の健康増進に向け利用されている。</p> <p>●本市での活用</p> <p>本市においてもスケートボード施設の建設が検討されていることから、今回の視察は勉強になった。新潟県村上市も旭川と同じ積雪地域であり、年間を通じて利用するためには屋内型にする必要があり、また、全国からトップレベルの選手に利用いただくためには、大会が開催できるクラスの設備が求められ、そのためには広大な土地、多額の建設費と維持費が必要となることからしっかりとした検討が求められる。</p> <p>スケートボード施設の建設にあたっては、市民が楽しむためのレベルなのか、合宿誘致等にも対応する施設なのか、さらに財政状況も鑑みその施設が市民に求められているもののかなど、十分に検討することが重要である。</p> <p>○村上市スケートパーク事業費（建設費等） 1,553,384千円 ○年間運営費（令和5年度予算額） 43,402千円 ※人件費は除外（光熱水費がかかる）</p>		

※ 「視察内容」欄には、調査結果に対する意見、本市における実施の可能性、課題等を記載すること。

(様式)

常任委員会行政視察報告書

委員会名	経済建設常任委員会	委員名	高木 ひろたか
視察地	新潟県 長岡市		
調査事項	市街地再開発事業「米百俵プレイスマライエ長岡」について		
視察年月日	令和5年11月14日(火)		
視察内容	<p>●視察内容</p> <p>新潟県長岡市の中心市街地の再開発の一環として本年7月22日にオープンした「米百俵プレイスマライエ長岡」の視察前に、長岡駅前の賑わい、開発状況にまず驚きを覚えた。とりわけ2012年にオープンした駅前の「アオーレ長岡」は、官民が一体となり、5,000人を収容できるアリーナ、開放感のあるナカドマ(屋根付き広場)、そして市役所が一体となり総合窓口や市議会など7割近い部署を配置した全国初の複合型施設。日本を代表する建築家・隈研吾氏の設計による、木の温もりにあふれた建物は圧巻です。とくに市議会議場は外からも見られるガラス張りとなっており、黒を基調に長岡市で有名な花火をイメージした議場で、素晴らしいデザインの議場です。</p> <p>そして、今回新たに米百俵プレイスマライエ長岡西館がオープン。こちらには図書館機能とともに、産業振興の拠点として交流スペースやコラボレーションオフィスなどがあり、令和7年度オープン予定の東館には市の商工・観光の部局に長岡商工会議所も入り産業の中心の場となる。視察時間が夕方となったが新しいスタイルの図書館により、多くの学校帰りの子どもたちや市民が集う空間であった。</p> <p>●本市での活用</p> <p>駅前開発と市の機能の配置を長期で計画し、着実に進めている長岡市の取り組みは学ぶ点が多い。本市においても中心市街地の活性化が大きな課題であるが、新庁舎建設など官民が一体となって長期計画で進めていけば、中心市街地も違ったかもしれないと感じた。</p> <p>ミライエ長岡の図書館「互尊文庫」は、会話や飲食ができる図書館で、机・椅子の様々なタイプ、デザインの物が設置されていて、静かな環境ではありませんが、仕事や勉強がはかどる快適な環境を整えている。また、「米百俵の精神」と長岡ゆかりの歴史人物を最先端のデジタル技術を活用した体験・思考型で展示し、小・中学生の総合的な学習の時間や、長岡をもっと知りたい人の学習の場を提供している。旭川駅周辺には子ども達が勉強するスペースが少ない現状であることから、長岡市の取り組みは大いに参考になり、活用できる部分はあると思う視察であった。</p>		

※ 「視察内容」欄には、調査結果に対する意見、本市における実施の可能性、課題等を記載すること。

(様式)

常任委員会行政視察報告書

委員会名	経済建設常任委員会	委員名	高木 ひろたか
視察地	東京都 小金井市		
調査事項	観光振興について（現地視察：江戸東京たてもの園）		
視察年月日	令和5年11月15日（水）～16日（木）		
視察内容	<p>●視察内容</p> <p>東京都小金井市における観光振興ということで、まず15日15時から3市（武蔵野市・三鷹市・小金井市）の連携による「3市魅力向上プロジェクト」の説明を「わくわく都民農園小金井」で受け、一般社団法人小金井市観光まちおこし協会が運営する農園も視察させていただいた。小金井市の観光まちおこし協会の主な事業としては、プロモーション事業として「桜まつり」「観光写真コンクール」など、情報発信事業としては、SNSでの発信に加え市民ボランティアによるレポーターや案内人、まちおこし事業は、体験型イベントとして「道草市」や地域アーティスト支援、そして「わくわく都民農園小金井」で地域交流拠点として多世代間の交流を進めている。</p> <p>16日には、小金井市にある江戸東京たてもの園を視察。江戸東京博物館の分館としてあるたてもの園は、現存保存が不可能な文化的・歴史的価値の高い建造物を移築・復元し、保存・展示することにより貴重な文化遺産として次代に継承することを目的としている。設立は12棟の建物から始まり、現在は30棟の建物を10年1サイクル（年3棟ずつ）で維持・管理しているが、その費用は建物にもよるが2億円規模となっている。机上説明の後、園内を建物の説明をいただきながら回らせていただいたが、有名な建築家による建物、歴史上の人物の家など、どの建物も貴重な文化財であり、たてもの園として維持・管理されていることは価値あることだと感じた。</p> <p>●本市での活用</p> <p>本市においても貴重な価値ある建築物があるが、保存していくためには解体・移設、維持・管理、修繕など相当な費用が必要となる。江戸東京たてもの園は東京都が公益財団法人東京都歴史文化財団を指定管理者として運営を委託しているが、東京都であるからたてもの園として運営できていると言える。また、そういった建物を1か所に集めることによって、観光施設としても十分集客できることも魅力の一つである。</p> <p>しかしながら、本市独自で貴重な文化財を守ることは厳しいと言わざるを得ず、国からの支援などが必要である。</p>		

※ 「視察内容」欄には、調査結果に対する意見、本市における実施の可能性、課題等を記載すること。